

# 雪の妖精シマエナガに会える！ 白い森のカフェで野鳥観察

北海道千歳市の豊かな森に佇む話題のカフェ。著名な写真家とその愛娘が立ち上げた世界的にも珍しいこのお店には、野鳥愛好家の楽園がありました。

〓ご当地マドンナとゆく〓

# 日本全国 ゆるり アウトドア旅

## 今回の先生



### ㊦ ケンプ 鮎子さん

オーナー。長年飲食業に携わり、2014年にお父様の嶋田忠さんと共同で念願のカフェを千歳市にオープン。

### ㊦ 嶋田 忠さん

幼少のころより鳥に興味を持ち、50年近く鳥類を中心に撮影を続ける動物写真家。野鳥のケアで店にいれば、ご本人に会えるかも!?

### ㊦ アーロン・ケンプさん

料理を担当する鮎子さんの夫。オーストラリア出身で音楽家でもある。

## 今回のマドンナ

### フォトライター 矢野直美さん

札幌市出身、旅と鉄道愛するフォトライター。小誌の人気連載だった「おんなひとりの鉄道旅」は現在電子化され購読が可能!



## 今回の旅先は……北海道千歳市!



北海道の空の玄関口「新千歳空港」があることで知られる千歳市。石狩平野の南端に位置し、日本屈指の水質を誇る支笏湖や、四季折々の表情を見せる原生林など、アウトドア的要素も充実している。

北海道の空の玄関口「新千歳空港」から車を走らせること約10分。支笏湖へと抜ける道道16号線を進むと、真っ白な森に抱かれるように佇む三角屋根のカフェが左手に見えてくる。

「ザ・バード・ウォッチング・カフェ」は、庭に来るさまざまな野鳥を店内から観察できるといって世界的にとっても珍しいカフェで、千歳市に住む動物写真家の嶋田忠さんと娘の鮎子さんが14年末にオープンさせた。

「父はこの美しい森の中に自分のフォトギャラリーを作りたい、私は長年携わってきた飲食業の経験からカフェをやりたいのが親子の夢がひとつになったのがこのお店なんです。」

コロナ禍の今でこそ利用者は道内や本州からに留まるが、それ以前は野鳥ファンや視察目的で世界各国からも人々が訪れていたそう! ……と、そんな話を聞いていた矢先、店内に面白いベルの音が響いた。

「あ、シマエナガが来ているようですよ!」

慌ててかけつけてみると、今回のマドンナ矢野さんがシャッターを切っていた。

「(小声で)かわいい〜!」

カフェに隣接して木造の小屋があるのがこのカフェの目玉。通称「撮影小屋」。ガラスの美しい窓枠に迷彩柄のカモフラージュネットがかけられ、その隙間



ライターなのに  
かわいしか  
もういえない!

## カモフラネットの外側は 愛らしすぎる野鳥たちの楽園

カフェの庭にエサ台が設置され、野鳥が集まる。カモフラネット  
で覆われる撮影小屋は全席が午  
前・午後で完全予約制。



→道沿いの看板が  
目印! 以前はア  
イヌ文化を伝承す  
る方の住宅だった。



←なんと矢野さん憧れの  
嶋田忠さんご本人が登場。  
鳥撮影のコツを教わり、  
恐縮しきりの矢野さん。

### シマエナガ

写真: 嶋田 忠



シジュウカラ

ヤマゲラ

アカゲラ

↑「雪の妖精」シマエナガは北海  
道にのみに生息。もふもふ感が  
増すのは冬冬の季節。必ず見ら  
れるとは限らず、この日はシ  
ジュウカラやヤマゲラ(←)、アカ  
ゲラ(→)などほかにも小さな野  
鳥が何羽も庭に来ていた。

## 旅のMEMO



**道の駅サーモンパーク千歳**  
④北海道千歳市花園2-4-2  
☎0123(29)3972  
🕒9:00~18:00  
(一部店舗は20:30まで)  
📅年末年始

### スープカレーの名店も!

新鮮な地元野菜や銘菓が買え  
る直売所や有名飲食店フード  
コートなどがある道の駅。そ  
ばを流れる千歳川には毎年サ  
ケが遡上し、水族館も併設。



市内のお菓子工場の  
人気サブレ。鮭味は  
道の駅の限定商品。



↑ご主人アロンさんは軽食のほか、店内の心  
地よいBGMも手がけられる。→カフェ入り口  
のギャラリーでは嶋田忠さんの作品を常設展  
示している。



↑食べるのが惜しいもふも  
ふのシマエナガソフトクリ  
ーム(650円)。



からカメラのレンズを出して撮  
影ができるようになっていたの  
だ。で、『雪の妖精』と今大人  
気のシマエナガの訪れを常連さ  
んが専用ベルで知らせしてくれ  
たというわけ。

「こんな快適な環境で野鳥を間  
近に見られるなんて本当にびっ  
くりです!」と、カメラを持ち  
替えて撮影する矢野さんが忙し  
い。それもそのはず、窓ガラス  
やカモフラージュを隔てた目と  
鼻の先で羽を休める何種類もの  
鳥たちが、小さくちばしで熱  
心にエサをついばんでいる。こ  
こには年間を通じて80種類以上  
の鳥が飛来。特に冬のほうが鳥  
たちの往き来は多いという。

「シマエナガは普段は高いとこ  
ろにいてなかなか間近で見られ  
ないんですよ。夏には水場を用  
意したりして、鳥の生態に合わ  
せて彼らが居心地の良い場所を  
僕たちが作っています。生き生  
きとした鳥の姿を、じっくり楽  
しんでいってくださいね。嶋  
田さんが矢野さんにニコリ微  
笑んだ。

# 「今もやっぱりサーモス！」 初代マドンナも認めるクオリティー



小誌『BE-PAL』で人気だった矢野直美さんの旅連載とサーモスがタッグを組んだのは2006年のこと。この度は久しぶりの登場となった。サーモスマグを片手に微笑む姿、さすがのひと言。初代マドンナ見参です!!



真空断熱ケータイマグ/  
JNR-501IRBJ KUMATAKA (左)、  
SANSHU (右) 各4,950円

6時間経過しても保温効力が68度C以上(0.5ℓの場合)と、まさに雪上アクティビティーに最適なマグ。サーモス スタイリングストア、サーモスオンラインショップのみでの取り扱いとなる。

## 野生動物をフューチャー 稀少なコラボモデル



釧路湿原を拠点にした野生動物の専門病院「猛禽類医学研究所」との限定コラボモデルで、イラストは野生動物画家・岡田宗徳氏が手がけた。売り上げ収益金の一部はオオウシなど絶滅が危惧される野生動物の保護に使われる。

## 便利な機能で日々の使いやすさを追求



飲み口は簡単に取りはずせて、日々の洗浄がラクラク。せんユニットは別売りで交換もでき、長く愛用できる。



ワンタッチでオープンするせんユニット。携行時はロックできて安心!

## 持ち出したくなる 軽く適度なボディ

0.5ℓマグで重さ約210g。ボディは女性の手にも収まる持ちやすい太さで、気軽に持ち出しやすくなる設計。飲み口は口元に向かって斜めにデザインされ、適量をスムーズに飲むことができる。

